

○ exfoliative toxin

図 4-30

熱傷様皮膚症候群 Staphylococcal Scalded Skin Syndrome; SSSS

〔病態〕

38℃程度の発熱

全身各所のびまん性潮紅と鶏卵大水疱

口囲の放射状の裂け目が特徴的

6歳以下、特に3歳以下に好発

〔毒素〕

ETA および ETB

細胞間接着のデスモソームを切断する毒性を持つ

新生児剥脱性皮膚炎 Ritter disease

○ 毛嚢炎とその進展膿皮症

ニキビ、痤瘡は思春期頃より発症する毛包脂腺系の慢性炎症性疾患。皮脂の分泌亢進、毛孔の狭窄、毛漏斗部の常在菌が原因となる。

化膿症

毛嚢炎 folliculitis

いわゆる「おでき」。毛孔からブドウ球菌が侵入、炎症を起こしたもの。

せつ furuncle

毛嚢炎が進展したもの。小指頭大。

よう carbuncle

複数の毛嚢に集合性を生じたせつ。鶏卵大。全身症状をしばしば呈する。発熱等。

面疔

顔面、特に顔面中央部に生じたせつ

療疽

指趾に生じた急性化膿炎症

○ 肺炎

市中肺炎 community-acquired pneumonia

原発ではなく二次的。インフルエンザ発症後2週間以内に高熱を伴って発症。

院内肺炎 Nosocomial pneumonia

- [Staphylococcus aureus
- [Pseudomonas aeruginosa
- [Enterobacter cloacae

入院後 48h以上経過したからの肺炎
 = 基礎疾患がある前提で「院内で」
 感染した場合。

< exfoliative toxin >

Nicksky sign

発疹近傍の一見正常な皮膚を擦ると表皮が剥離する現象